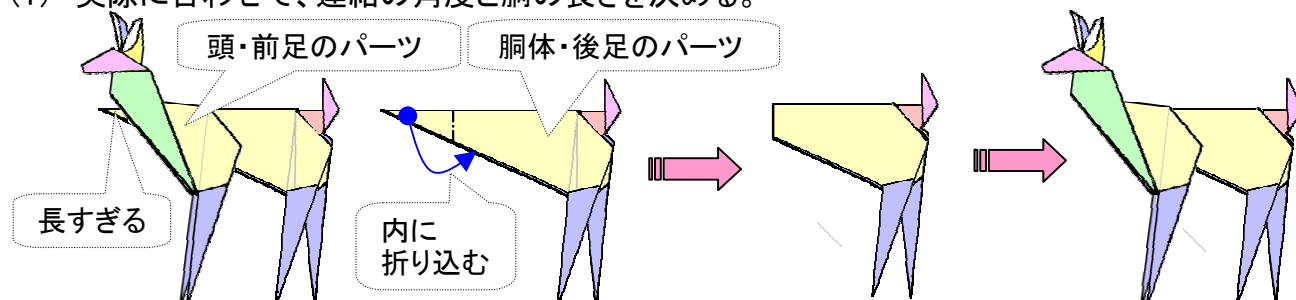


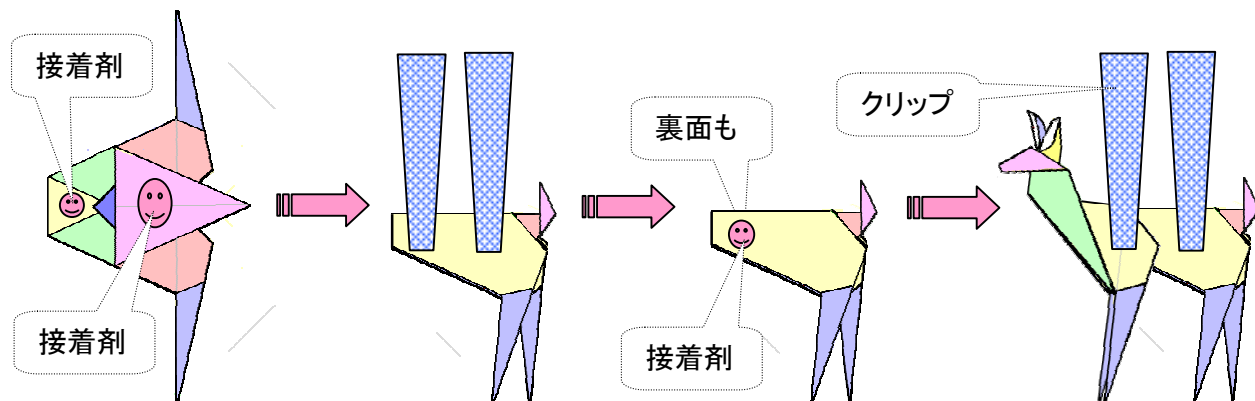
鹿を折る（2枚の同色の折り紙が必要）

◎ 鹿の完成（＜頭・前足のパーツ＞と＜胴体・後足のパーツ＞を連結させて鹿を完成させる。）

（1）実際に合わせて、連結の角度と胴の長さを決める。



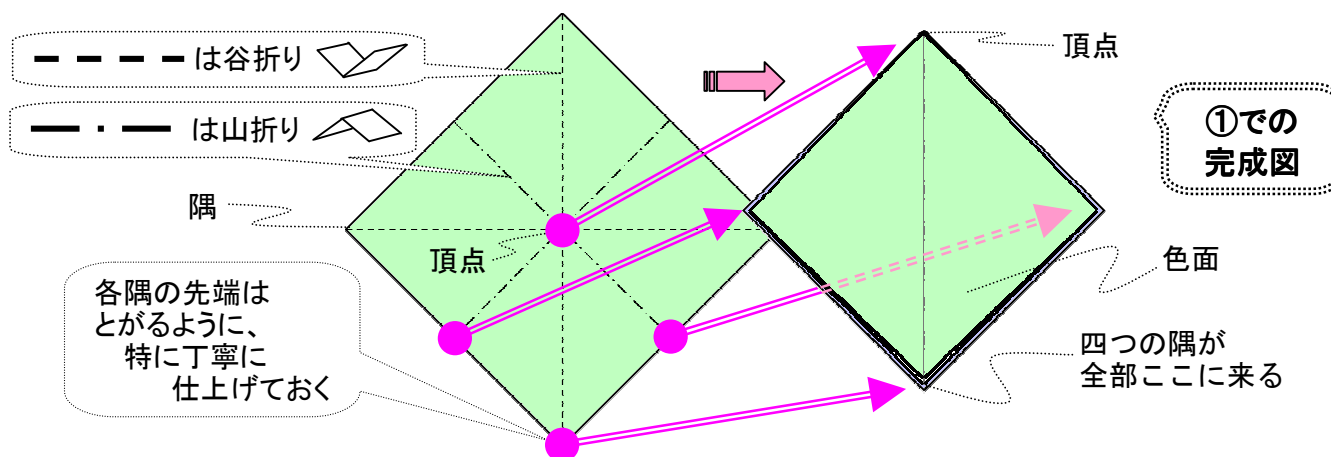
（2）次の箇所（胴体・後足の部品）のみに速乾性の接着剤を少量置いて、接着する。



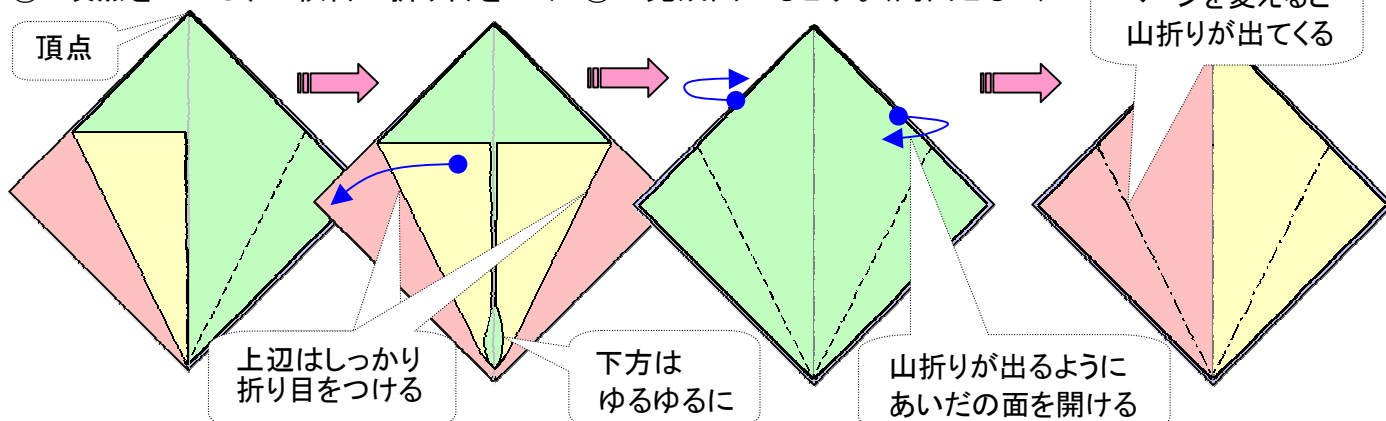
◎ 鹿の足の製作（同じ折り方で前足・後足を作る。＜①～③は鶴の折り方と同じです＞）

＜注＞山折り、谷折りというのは、いずれも表から見た時の姿であり、裏から見れば逆の折りになる。

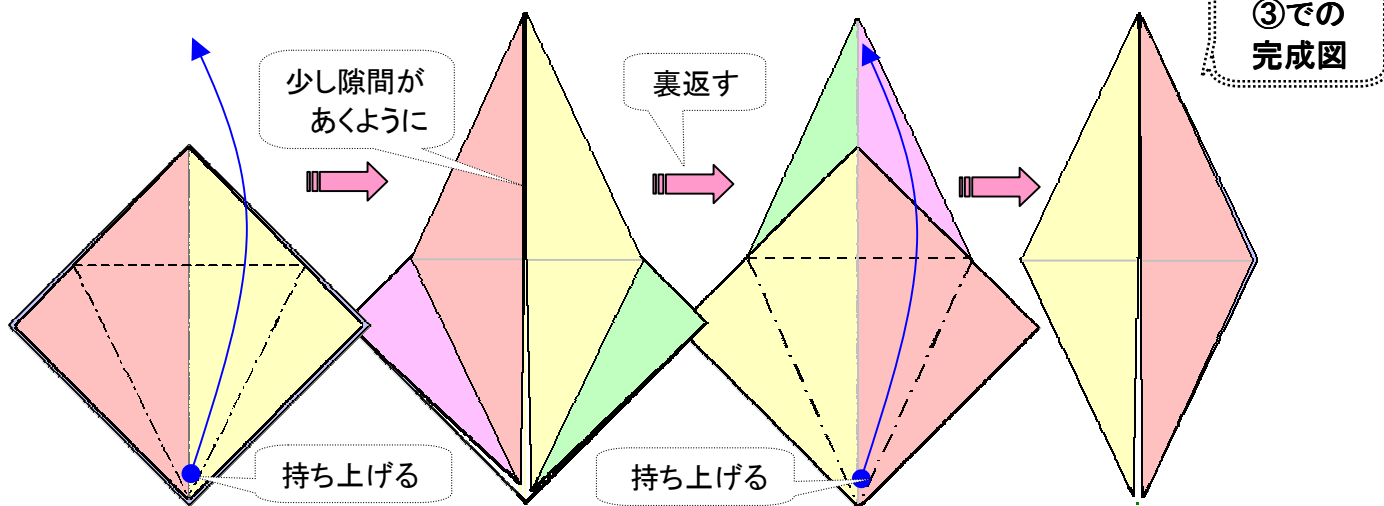
① 折り紙を準備し、色面を「表」にして折り目をつけ、折り目に従って 1/4 の大きさに仕上げる。



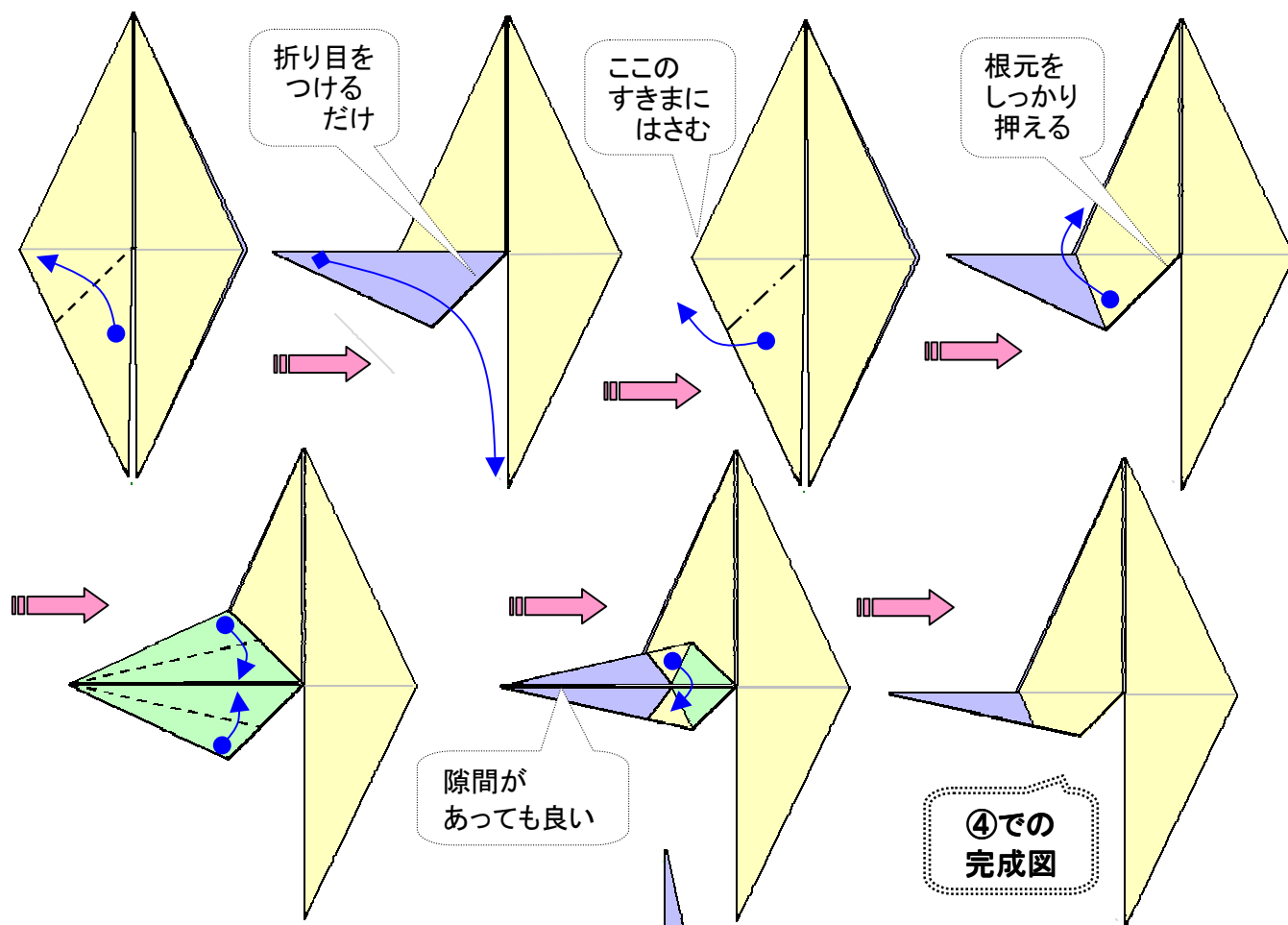
② 頂点を上にし、一枚目に折り目をつけ ①の完成図にもどす。（両面ともに）



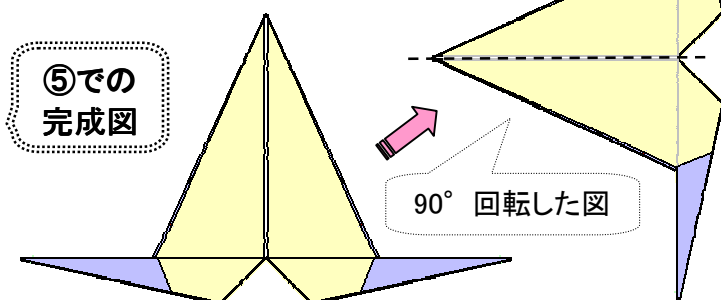
③ 折り鶴の要領で上の一枚を持ち上げる。(両面ともに)



④ 一本目の足を作る。(前足、後足も基本的に同じ)

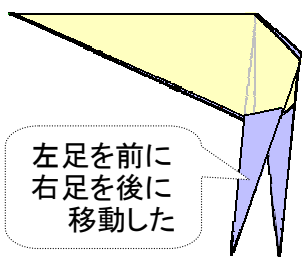


⑤ ④と同様に二本目の足を作る。



ここで
このように
うまく折れ曲がるか
チェックしてください。
1頭の鹿には
「頭・前足」と「胴体・後足」の
2つのパーツが必要です。

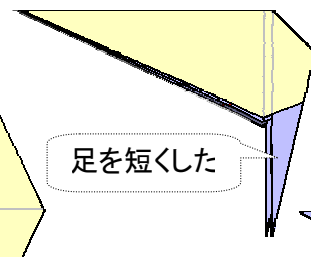
<さらに：足を前後させることも可能>



左足を前に
右足を後に
移動した

④の途中のここの角度を変えれば、
足を前後と違ったようにできる。
足を前にする方は折りがやや難しい

<さらに：足の長さを変える>

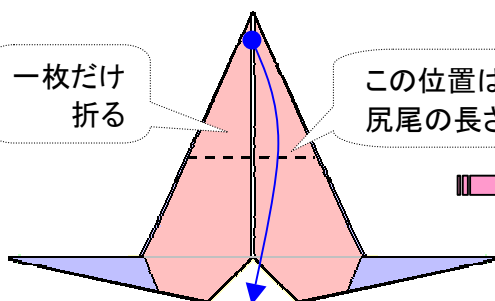


足を短くした

④の途中の
この折る位置をずらせば
足の長さを短くすることができる

◎ 鹿の尻尾の仕上げ(胴体・後足のパーツを使って)

⑥ 内側の一枚を曲げて尻尾を作る。尻尾の長さは好みでよい。⑦のようにひと手間加えても良い。

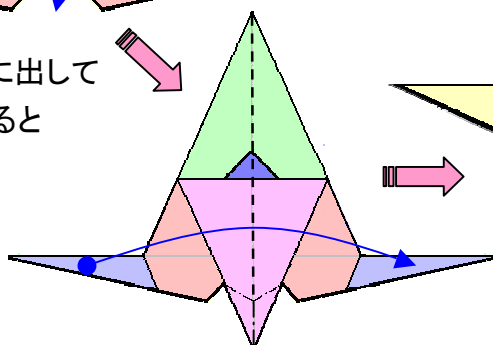


一枚だけ
折る

この位置は作りたい
尻尾の長さで調整する

⑥での
完成図

⑦ 尻尾を長めに出して
上に折り曲げると
雄らしくなる。

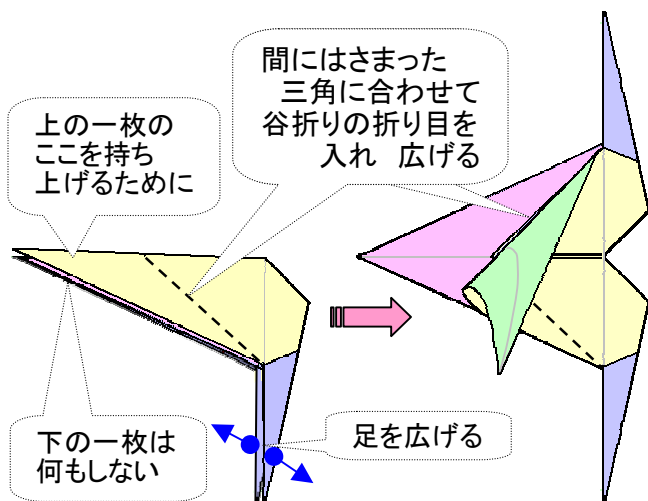


尻尾の
雰囲気は
好みで

⑦での
完成図

◎ 鹿の頭・角の仕上げ(頭・前足のパーツを使って)

⑧ 外側の一枚を図のように折り目だけ入れ、次いで折り目に従って持ち上げ完成図のように折る。



上の一枚の
ここを持ち
上げるために

間にはさまった
三角に合わせて
谷折りの折り目を
入れ 広げる

下の一枚は
何もしない

足を広げる

持ち上げる

ここは
谷折り

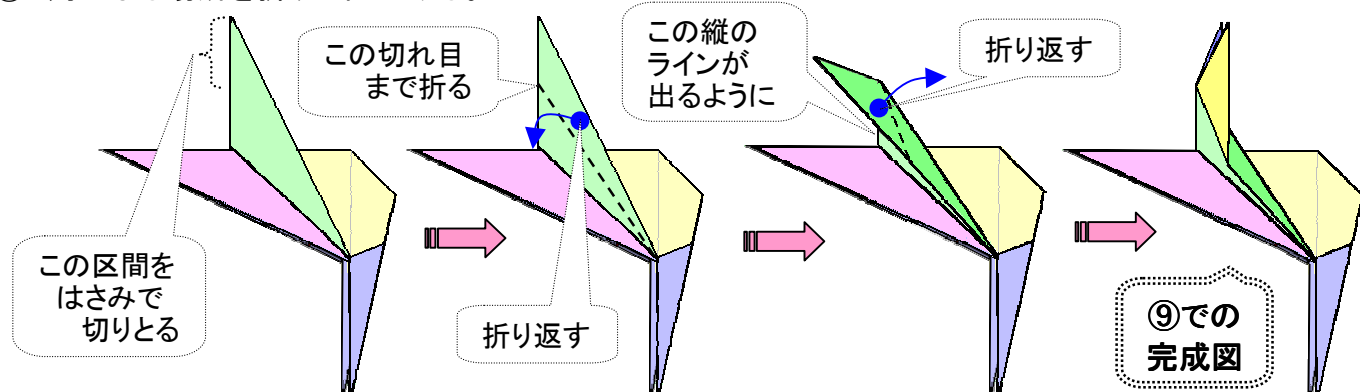
ここは
元通り山折り

この部分を
持ち上げる

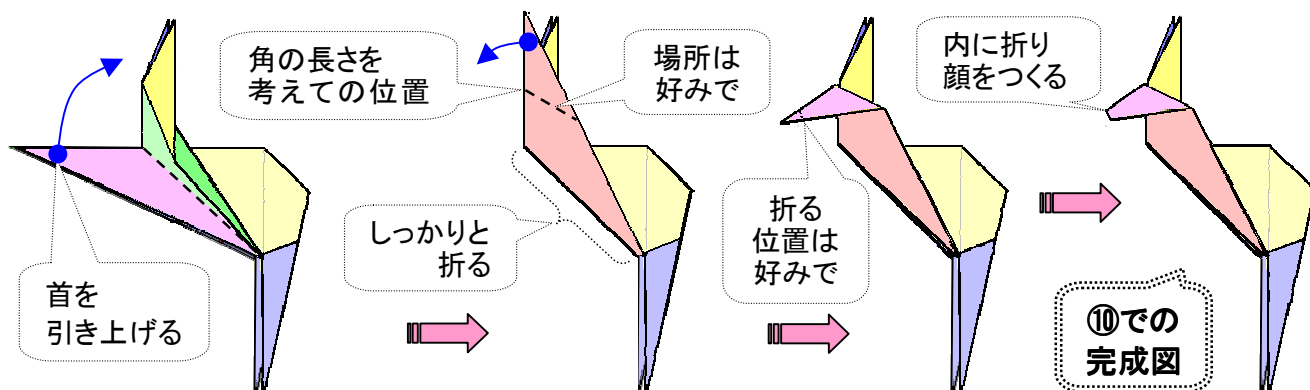
もと通りに
折る

⑧での
完成図

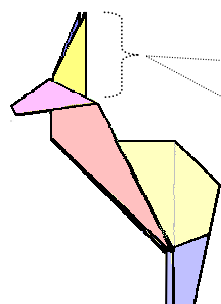
⑨ 角になる場所を折りで仕上げる。



⑩ 足を広げ、角と同様の折り方で首を立ち上げる。

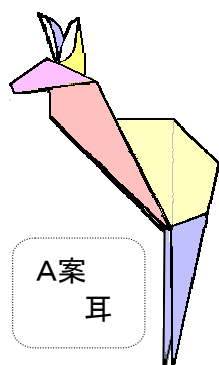


⑪ 頭・前足の部分の頭を仕上げる。

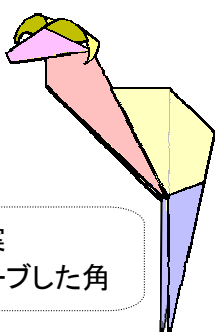


この部分についていろいろと加工できる。
 A案 中を広げ、指で押えて耳を作る。
 B案 爪でしごき、カーブした角を作る。
 C案 ねじって、巻いた角を作る。
 D案 折り曲げて、短い角を作る。
 E案 ハサミを使って、鹿の角を作る。

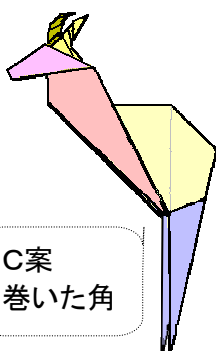
⑪での
各種
完成図



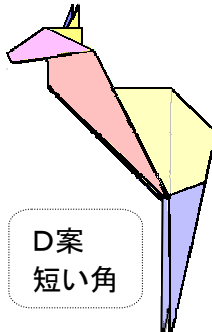
A案
耳



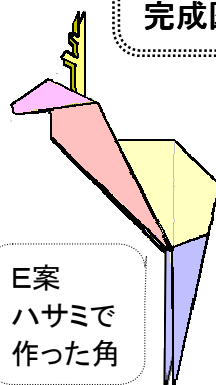
B案
カーブした角



C案
巻いた角



D案
短い角



E案
ハサミで
作った角

◎ 試作組み合わせ

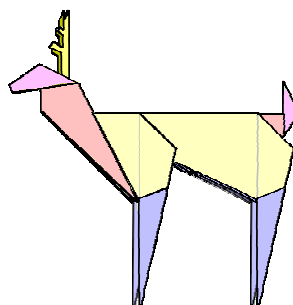
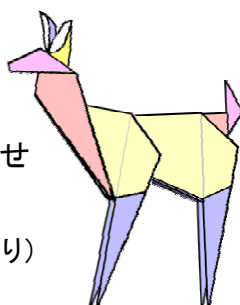
首・前足のパーツ⑪と

胴体・後足のパーツ⑥⑦から

適当なものを選び組み合わせ

好きな鹿を試作する。

(実際の接着は最初の記載どおり)



⑪と⑥⑦とは、
好みの角度、
好みの体長で
つながることが
できる